

ルシファー(サタン)はもとは「守護ケルブ」だった

この考えの根拠は、主にエゼキエル書28:12~18およびイザヤ書14:12~15に基づいています。ここでは、「ティルス(口語訳:ツロ)の王」に対する神の宣告が記されていますが、これは人間の王ティルスではなく、霊的存在(つまりサタン)を象徴していると思われます。

→**ティルス(口語訳:ツロ)の王** = **墮落前のルシファー** →イザヤ14:12 = ああ、お前は天から落ちた／明けの明星、曙の子よ。お前は地に投げ落とされた／もろもろの国を倒した者よ。

☞エゼキエル書28:12~18

12「人の子よ、ティルスの王に対して嘆きの歌をうたい、彼に言いなさい。主なる神はこう言われる。お前はあるべき姿を印章としたものであり／知恵に満ち、美しさの極みである。13お前は神の園であるエデンにいた。あらゆる宝石がお前を包んでいた。ルビー、黄玉、紫水晶／かんらん石、縞めのう、碧玉／サファイア、ざくろ石、エメラルド。それらは金で作られた留め金で／お前に着けられていた。それらはお前が創造された日に整えられた。14わたしはお前を／翼を広げて覆うケルブとして造った。お前は神の聖なる山にいて／火の石の間を歩いていた (→欽定訳：Thou art the anointed **cherub that covereth**[あなたは、油を注がれた**覆いのケルブ**である]; and I have set thee so: thou wast upon the holy mountain of God; thou hast walked up and down in the midst of the stones of fire.口語訳：14わたしはあなたを油そそがれた／守護のケルブと一緒に置いた。あなたは神の聖なる山にいて、／火の石の間を歩いた)。15お前が創造された日から／お前の歩みは無垢であったが／ついに不正がお前の中に／見いだされるようになった (→口語訳：あなたは造られた日から、／あなたの中に悪が見いだされた日までは／そのおこないが完全であった)。16お前の取り引きが盛んになると／お前の中に不法が満ち／罪を犯すようになった。そこで、わたしはお前を神の山から追い出し／翼で覆うケルブであるお前を／火の石の間から滅ぼした。17お前の心は美しさのゆえに高慢となり／栄華のゆえに知恵を墮落させた。わたしはお前を地の上に投げ落とし／王たちの前で見せ物とした。18お前は悪行を重ね、不正な取り引きを行って／自分の聖所を汚した。それゆえ、わたしはお前の中から火を出させ／お前を焼き尽くさせた。わたしは見ている者すべての前で／お前を地上の灰にした。

以上の聖句から分かることは、以下のとおりである。

1. 「お前は神の園であるエデンにいた」

→これは単なる人間の王ではなく、霊的存在を指している。エデンの園にいたのはアダムとエバだけではなく、蛇(サタン)もいた(創世記3章)。

2. 「わたしはお前を／翼を広げて覆うケルブとして造った」(口語訳：「わたしはあなたを油そそがれた／守護のケルブと一緒に置いた」)。

→ケルブ(ケルビム)は、神の御前に仕える高位の天使的存在であり、エデンの園の守護者でもあった(創世記3:24)。この記述は、ルシファー(サタン)がもともとケルブだったことを示唆している。

3. 「お前が創造された日から／お前の歩みは無垢であったが／ついに不正がお前の中に／見いだされるようになった(→口語訳：あなたは造られた日から、／あなたの中に悪が見いだされた日までは／そのおこないが完全であった)」。

→これは、墮落前のサタンが完全な存在であったが、後に墮落したことを示している。

☞イザヤ書14:12~15

ああ、お前は天から落ちた／明けの明星、曙の子よ。お前は地に投げ落とされた／もろもろの国を倒した者よ。13かつて、お前は心に思った。「わたしは天に上り／王座を神の星よりも高く据え／神々の集う北の果ての山に座し14雲の頂に登って／いと高き者のようになろう」と。15しかし、お前は陰府に落とされた／墓穴の底に。

→「ああ、お前は天から落ちた／明けの明星、曙の子よ。お前は地に投げ落とされた」(イザヤ4:12) この「明けの明星(ルシファー)」がサタンを指しているが、ケルブであったとは記していません。

ただし、「お前は陰府に落とされた」という描写は、エゼキエル書の記述（エゼキエル書28:17bわたしはお前を地の上に投げ落とし）と関連していると考えられます。

以上から、ルシファーは高位の天使（ケルブまたはセラフィム）であったが、高慢（エゼキエル28:17 お前の心は美しさのゆえに高慢となり）や傲慢（→イザヤ14:14 いと高き者のようになろう）によって墮落したとされています。

→エゼキエル28章等の記述から、ルシファー（サタン）がもともと「守護のケルブ」であったが、後に墮落して追放されたことが分かります（聖書で「ルシファー＝ケルブ」と明記しているのではなく、比喩的解釈）。